DESIGN STUDY CENTER

デザインで東北から未来を創造する

宮城大学デザインスタディセンターの試み

日時 2024.2.4日

展示［体験展示・アーカイブ展示］／9:30-19:00

シンポジウム［デザイン研究教育とオープンイノベーション］／14:30-17:40（予約優先、当日受付・立ち見可）

会場 せんだいメディアテーク 1Fオープンスクエア

宮城県仙台市青葉区春日町2-1 https://www.smt.jp

入場無料

主催｜宮城大学デザインスタディセンター　協力｜株式会社オカムラ,WOW inc.

MYU Design Study Center
宮城大学デザインスタディセンター

本展について

デザインを通して、新しい価値をどう生み出していくのか。流動的で不確実な時代において、あるべき社会の未来を構想し、そこに生じる課題を発見し、創造的に解決することができる高度なデザイン人材が求められています。

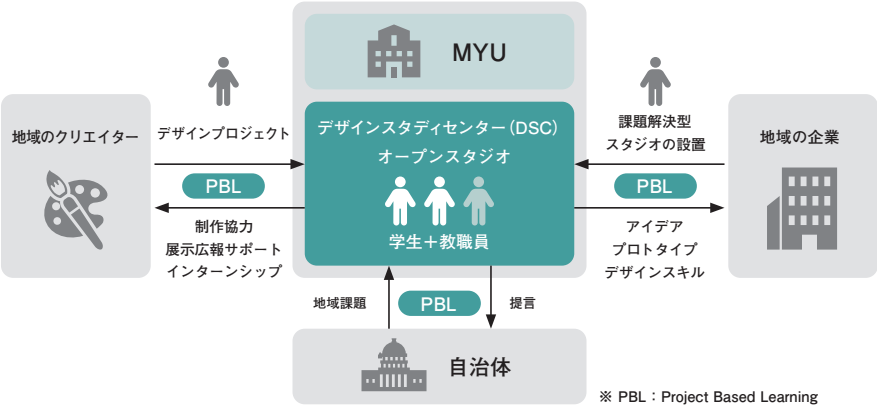
本展では、宮城大学デザインスタディセンターが発足から3年間に行ってきた「デザイン」をキーワードに未来を創造するための様々な活動 ーワークショップ、講演会、展示会、冊子の発行などー を紹介します。また、シンポジウムでは様々なアプローチでイノベーションを展開している企業や組織を迎えて、デザインの研究教育と社会での活用方法について考えます。地域から発信する新しいデザインのあり方を是非体験してください。

子供から大人まで楽しめる体験展示も用意しています。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

宮城大学デザインスタディセンター（DSC）について

DSCは、宮城大学を中心として学生・地域の事業者・自治体が集い、共に学び、共にプロジェクトを展開する共創的な教育研究プラットフォームです。多様なバックグラウンドを持つ参加者の交流を通じて、俯瞰的な視座や実践方法を獲得したり、地域資源をデザインの視点から探索してその価値を再評価・創造する活動を2021年から行なっています。

主催するプログラムでは、様々な分野でイノベーションに携わるゲストを招き、講演、フィールドリサーチ、制作、プレゼンテーションなどの流れを通してその考え方や実践方法をプロジェクト形式で学んでいます。学内外の学生のみならず地域の企業やクリエイターも参加し、発展的な学修、新規事業創出、社内研修、地域文化振興、ポートフォリオの充実など、様々な目的に活用されています。



※ PBL：Project Based Learning

［体験展示］

1

2

3

［アーカイブ展示］（一部）

4

5

6

プログラム | 2024年2月4日（日）

	展示	シンポジウム	
09:30			開場
14:30			ご挨拶・DSCのご紹介
15:15			ゲストトーク
16:50			クロストーク
17:30			クロージング
19:00			閉場

ゲスト

田村 大
Re:Public inc.
神奈川県生まれ。幼少期を福岡県・小倉で過ごす。東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。新卒で博報堂に入社後、デジタル社会の研究・事業開発等を経て、株式会社リ・パブリックを設立。欧米・東アジアのクリエイティブ人脈を背景に、国内外で産官学民を横断した社会変革・市場創造のプロジェクトを推進している。2014年、福岡に移住し、九州を中心とした活動に移行。2018年より鹿児島県薩摩川内市にて、「サーキュラーシティ」の実現に向け取り組んでいる。現在、九州大学、北陸先端科学技術大学院大学にて客員教授を兼任。
https://re-public.jp/

水野大二郎
国立大学法人京都工芸繊維大学未来デザイン工学機構 教授,慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特別招聘教授
1979年東京生まれ。2008年Royal College of Art ファッションデザイン博士課程後期修了、芸術博士（ファッションデザイン）。デザインと社会の関係性を批評的に考察し架橋する多様なプロジェクトの企画・運営に携わる。蘆田裕史とファッション批評誌『vanitas』の共同責任編集をはじめ、共著書に『x-DESIGN』、『Fabに何が可能か』、『インクルーシブデザイン』、『リアル・アノニマスデザイン』、『fashion design for living』、『クリティカルデザインとはなにか』、『サーキュラーデザイン』など多数。

津田和俊
京都工芸繊維大学 講師、山口情報芸術センター［YCAM］研究員
1981年、岡山県新庄村生まれ。2008年から大阪大学工学研究科特任研究員、2011年から2015年まで同助教。2010年からファブラボのネットワークに参加し、2013年、ファブラボ北加賀屋（大阪市）を共同設立。2014年から山口情報芸術センター［YCAM］のコラボレーターとなり、2016年から専門委員（研究員）としてYCAMバイオ・リサーチなどを担当。2020年から京都工芸繊維大学の講師に着任。

参加お申し込み

シンポジウムにご参加を希望される方は、こちらのWEBフォームからお申し込みください。
（無料・定員50名）

［体験展示］
1.「ROKURO」,「branch」（STUDY PROJECT ‘KOKESHI’）
2.3.「やまのかけら」（DSC×WOW「いのりのかたち展」）

［アーカイブ展示］（一部）
4.『肉の未来』（DSC STUDIO 2022 ／ STUDIO 2）
5.『地域文化の再構築と発信』（（DSC STUDIO 2022 ／ STUDIO 3）
6.『未来とともにある「テマヒマ」の暮らし』（DSC STUDIO 2023）